

報道関係者各位

日本アニメーション株式会社
2026年7月9日（木）10時情報解禁

**ショートフィルム『20001年 地球の旅』が
ファンタジア国際映画祭 2026のコンペティション部門に正式選出されました
2026年7月18日（土）15時（現地時間）にワールドプレミア上映決定**



日本アニメーション株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石川和子）は、株式会社サラマンダーとの共同プロジェクトとして、ショートフィルム『20001年 地球の旅』（英題：20001 An Earth Odyssey）を製作いたしました。

『20001年 地球の旅』は、株式会社サラマンダーが企画立案から原作開発、アニメーション制作までを一貫して手掛けたオリジナル短編アニメーションです。日本アニメーション株式会社は、ビジネスプロデュースおよび国際展開を担当し、両社の強みを活かした共同プロジェクトとして推進しています。

また、このたび、『20001年 地球の旅』が、カナダ・モントリオールで開催されるファンタジア国際映画祭 2026のコンペティション部門に正式選出されました。

ファンタジア国際映画祭は、北米最大級のジャンル映画祭として知られ、SF、ファンタジー、ホラー、アニメーションなど、独創性の高い作品を世界中から紹介してきた国際映画祭です。本作は、第30回を迎える2026年の同映画祭において、2026年7月18日（土）15時（現地時間）にワールドプレミア上映される予定です。

【Fantasia Festival WEBSITE URL】

<https://fantasiafestival.com/en/film/20001-an-earth-odyssey>

【『20001年 地球の旅』について】



■人類が消えた2万年後の地球を、宇宙人の視点から描くSFブラックコメディ

本作の舞台は西暦20001年。人類が絶滅してから遙か後の地球に、3人の宇宙人が降り立ちます。彼らの目的は、人類文明がなぜ滅亡したのかを調査すること。

ケボ船長率いるチームは、ブランコを神聖な祭壇、傘を通信装置、墓地を農場と勘違いしながら、人類が残した遺物を独自に解釈していきます。強情で人類に敬意を抱くケボ、論理的な分析を試みるアルシア、そして純粋な直感で真実に近づく新人リゲル。3人の誤解と発見を通して、「人間とは何か」「文明とは何か」「人類は本当に知的な存在だったのか」という問いを軽やかでシュールなコメディとして描きます。

タグライン：Aliens visit Earth to understand the long-gone humanity. We give them more questions.

■短編シリーズとして国際共同制作・配給パートナーを募集

『20001年 地球の旅』は、5分×24話の短編シリーズとして開発中の企画です。2026年6月に開催されたアヌシー国際アニメーション映画祭 MIFAにて企画情報を解禁し、現在、国際共同制作および配給パートナーを募集しています。

ショートフィルムとしての映画祭展開に加え、シリーズ化を見据えた国際展開を進めることで、日本発のオリジナルアニメーションIPとして、より多くの視聴者に届けることを目指します。



■実力派クリエイター・キャストが参加

監督は『ドラゴン、家を買う。』などで知られる春日森春木氏。キャラクターデザインは『サムライチャンプルー』や映画『キル・ビル』アニメーションパートなどで知られる中澤一登氏が担当。原作・プロデューサーは、『ポケモンコンシェルジュ』などを手掛けた櫻井大樹氏。音楽は『グリム組曲』を手掛けた宮川彬良氏が担当しています。

■ワールドプレミア上映にあわせてサインセッションを実施

ワールドプレミア上映にあわせて、サラマンダー・ピクチャーズ CEO であり、本作の原作・プロデューサーを務める櫻井大樹氏が映画祭会場を訪れます。

上映終了後には、『20001 年 地球の旅』オリジナルポスターを先着 100 名様に配布し、その場で櫻井大樹氏によるサインセッションを実施する予定です。

世界中から集まる映画ファンやアニメーション関係者との交流を通じ、本作ならびに現在開発中の短編シリーズ『20001 年 地球の旅』の魅力を国際的に発信してまいります。

【**作品概要**】

タイトル：20001 年 地球の旅

英題：20001 An Earth Odyssey

制作年：2026 年

上映時間：7 分 54 秒

作品形態：短編アニメーション映画

ジャンル：アニメーション／コメディ／SF

制作国：日本

原語：日本語 / 英語

字幕：英語

上映形式：DCP／16:9

ワールドプレミア：

[時間] 2026 年 7 月 18 日 (土) 15 時 (現地時間) / 2026 年 7 月 19 日 (日) 4 時 (日本時間)

[会場] ファンタジア国際映画祭 (カナダ・モントリオール)

企画・制作：株式会社サラマンダー (サラマンダー・ピクチャーズ)

ビジネスプロデュース・国際展開：日本アニメーション株式会社

■主なスタッフ・キャスト

原作 櫻井 大樹

監督 春日森 春木

キャラクター原案 加藤 タカ

キャラクターデザイン 中澤 一登

音楽 宮川 彬良

プロデューサー 櫻井 大樹、平塚 仁美

脚本 吉澤 佑実子、櫻井 大樹

キャスト 上田 燿司、小林 ゆう、川原 瑛都

■参考資料

【ファンタジア国際映画祭について】

ファンタジア国際映画祭は、カナダ・モントリオールで毎年開催される、北米最大級のジャンル映画祭です。1996年の創設以来、SF、ファンタジー、ホラー、アニメーション、カルト映画など、世界各国の独創的な作品を紹介してきました。

2026年は第30回の記念開催となり、2026年7月16日から8月2日まで開催されます。ジャンル映画に特化した国際映画祭として、北米のみならず国内外の映画・アニメーション関係者からも注目される映画祭です。

【株式会社サラマンダー（サラマンダー・ピクチャーズ）について】

2023年設立。脚本家・プロデューサーとしてプロダクションI.GやNetflixで数々のアニメーション作品に携わってきた櫻井大樹が設立した、アニメーション企画・制作スタジオです。オリジナルIPの開発から脚本・実制作まで、多様な作品に取り組んでいます。

【日本アニメーション株式会社について】

1975年の創業以来、「心の涵養に寄与するアニメーション作り」を理念に、子どもたちの心を育む作品を生み出し続けてきました。『世界名作劇場』シリーズや『ちびまる子ちゃん』をはじめとする作品は、世代や国境を超えて、世界中で愛され続けています。アニメーション制作にとどまらず、マーチャンダイジングやイベントなど、多様な形で作品の魅力を届けることで、作品の持つ価値を世界中のファンに届け続けていきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当：西方、井上

E-mail：pr-na@nippon-animation.co.jp

画像掲載の際は以下のコピーライトを記載いただきますようお願い申し上げます。

「©Salamander Pictures / Nippon Animation」